

現 認 書

被災職員	氏 名	福島太郎
	所属部局・課・係	〇〇市総務部総務課総務係
	災害発生の日時	令和〇年10月12日 午前・午後 1時20分頃
	災害発生の場所	総務課隣の印刷室内
現認状況詳細		
私は被災者と一緒に印刷室の片づけをしていたところ、令和〇年10月12日		
午後1時20分頃、コピー用紙の入っているダンボール箱の積みなおし作業をし		
ている際に、被災者が手を滑らしてダンボール箱を右足に落とし、負傷したところを現認しました。		
最も重要な証拠書類であり、これをもとにして組合が公務災害・通勤災害の認定		
について審査するので、現認した状況を下記項目を考慮して具体的に詳しく記入すること。		
① いつ		
② どこで		
③ 誰が		
④ 誰と		
⑤ どのような目的で		
⑥ どのような行為中に		
⑦ どのようになって		
⑧ 負傷、発病し、どうしたのか		
※災害発生報告書の発生の状況欄記載事項の転記のみでは現認書としての証拠力が		
ないので記入に当たっては注意すること。		
※現認者と被災職員とは異なるので、第三者的立場からの記載となる。		
上記のとおり現認しました。		
令和〇年〇〇月〇〇日		
住 所		
(現認者) 職 名 主 査		
氏 名 〇 〇 〇 〇		

(注) この用紙は、災害の目撃者に作成してもらうこと。

現認者が同僚職員等である場合には、「住所」欄は記入する必要はないこと。

現場見取図

現場見取図

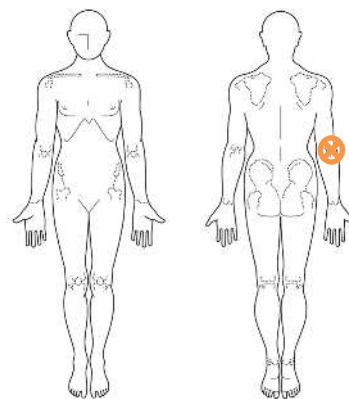
- ・ 勤務施設の敷地内で発生した災害の場合、当該施設の敷地とそれに隣接する道路等を含めた範囲を図示すること。（敷地境界を表示すること。）
- ・ 勤務敷地外で発生した場合、目標となる建物を記入し、現場（経路）が容易に理解できるように図示すること。
- ・ 図中に必ず災害現場を朱書きすること。
- ・ 経路図が必要なものは、既成の地図（道路マップ等）を使用してください。

経路図が必要なものは、既成の地図（道路マップ等）を使用してください。

現場詳細見取図

- 被災職員と現認者の位置を図示すること。
- 作業中の負傷等の場合は、その状況を分かり易く図示し、負傷の部位も図示すること。

- ・ 上記経路図兼現場見取図の災害現場の詳細見取図を分かりやすく図示すること。
- ・ 見取図内には、被災職員の位置関係（災害現場）のほか、現認者位置も記入すること。
- ・ 下の人体図には、負傷箇所を図示（⊗）すること。



（注）この用紙に書けない場合は、別紙又は写真を利用すること。